

藤本 順子さん (山口県山口市出身)  
2017年度1次隊 青年海外協力隊  
派遣国:モザンビーク 職種:農業土木  
2019年2月10日(日)中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

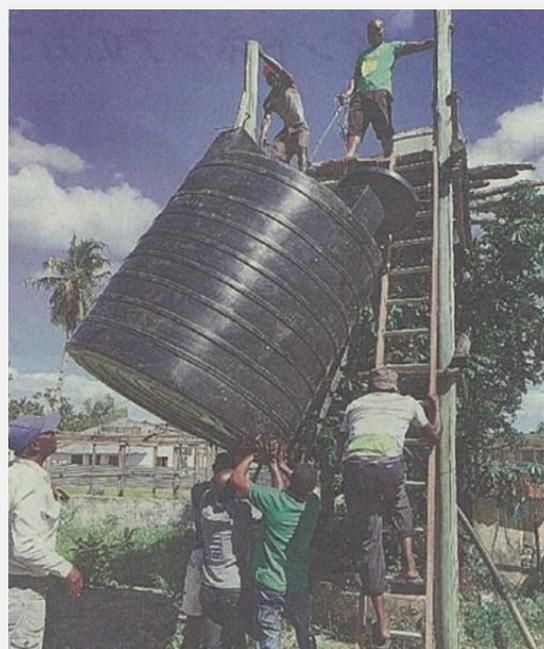
## かんがい農業普及に力

「ココ?」。ココナツを手押し車に大量に載せた少年が聞いてくる。20円ほどの現地通貨を払うと、器用に実に穴を開けてくれる。その穴に口を当ててココナツを傾けると、爽やかな甘さが口の中に広がる。

炎天下で働いた後に飲むココナツジュースは最高においしい。飲み終わるとそれを二つに割ってくれ、果肉を食べることができる。木陰に座ってのんびり食べていると「買わない?」。今度はバナナやマンゴーなどのフルーツや野菜が入ったバケツを頭に乘せた、お母さんたちが聞いてくる。これが私の日常である。

私はアフリカ南東部に位置するモザンビークという国で、農業土木のボランティアとして活動している。任地は首都から北にバスで7時間ほどのイニャンバネという州だ。過半数の人が農業をなりわいとしているが、日本のそれとは全く異なる。農地は整備されておらず、作業は全て手で行っている。まるで縄文時代にタイムスリップしたかのようだ。

私の活動内容は、かんがい農業の普及である。雨が少ないこの地では、水やりをしなければ作物がうまく育たない。同僚とともに川や井戸から水をくみ上げるポンプや、その水を配るホースを農地に設置。水路を作り、雨の降らない時でも農業に水を利用できるようにする。日本とは地形も環境も全く異なるため悪戦苦闘の日々ではあるが、同僚と協力しながら少しでもこの国の農業の発展に貢献できればと思う。



農業用の貯水タンクを設置する同僚たち